

あなたの夢を、暮らしを応援する住宅情報紙



# かふう

毎週金曜日発行

2014.8.22

Vol.464

<http://www.kahou.jp>

かふう  検索

SIM  
PLE

## 新報リビングニュース



目次

こんな家に住みたい  
うるま市 Zさん宅

## 大きな軒下空間で多彩に過ごす

チャレンジ  
25

- 5 ギャラリーに行こう  
雑貨屋シャムス
- 6 どうする住宅資金  
分譲マンション特有の支出  
管理費と修繕積立金
- 9 ドキュメント家づくり  
古民家を自らの手で  
海辺の町へ移築③

- 10 空間コーデ  
plants喫茶green mama
- 11 うちなあ点描 沖縄～アジア・トイレ紀行  
ゴールデンテンブルの有料トイレ  
平川宗隆
- 12 ペット  
つぼや工藝店／ZOOウォッキング

- 13 ガーデン  
緑と暮らす 水草
- 19 イベントに行ってきました  
賃貸住宅フェア2014 in 沖縄
- 20 建築資材ライブラー  
エコカラットプラス
- 22 かふう週報

撮影・屋比久光史 「かふう」とは、「沖縄語辞典」によれば「果報。幸運（にめぐり合うこと）」とあります。「かふう」であなたの幸せを見つけてください。

琉球新報

発行／琉球新報社  
〒900-8525 沖縄県那覇市天久905  
☎098-865-5014

企画・編集・制作／(株)正広コーポレーション  
〒900-0004 沖縄県那覇市銘苅1-11-9  
☎098-941-8112

サンキュウ コードク  
購読のお申し込み 0120-39-5069

SIM  
PLE

# 大きな軒下空間で多彩に過ごす

仕事に子育てに多忙な毎日を送るZさん夫妻は、1年半ほど前に念願のマイホームを完成させました。敷地の広さを生かしたオープンな平屋建てで、「快適」「楽しい」「便利」の三拍子そろった住まいです。

## 一要望をスケッチにまとめて妥協のない家づくりを目指す

青々とした芝庭で水遊びをする子どもたち。家中で聞くこえるはしゃぎ声が、なんともほほ笑ましいZさん宅は、幼稚園、4歳、2歳の子どもたちと夫婦の5人家族です。人が集う楽しい家を建て

よう。これはZさん夫婦が結婚してすぐに決めたこと。住まいのイメージは、ご主人の手によって描かれました。「父の所有地に建てるとは決まっています」

任せるとして、「この土地

の周囲環境に適した間取りや「私たち家族の暮らしへ必要なモノや空間」を、自分なりにスケッチにまとめました。

「めでみたんです」

マイホームの頭金もある程度貯まり、「そろそろ家を建てようか」と動き出しだはみたものの、なかなか納得のいく家づくりのパートナーに出会えなかつたと

いうZさん夫妻。そんな時、何気なく立ち寄った設計事務所で、今回、設計を依頼することになつた建築士と出会いました。

建築士さん

の和やかな雰

囲気に囲まれて、思いつくままに家づくりの条件や希望を挙げていったのですが、「大丈夫。予算内で建てましょう」と心強い言葉をもらひ、ここで建てようと決心がつきました。打ち合わせが始まつてからも、私たちがこうしたいと伝えたことに對して、「無理です」とは一切言わず、必ず前向きに検討し、その上で難しければ、理由もはつきりと言つてくれた。そんなところも信頼につながりました」と振り返ります。

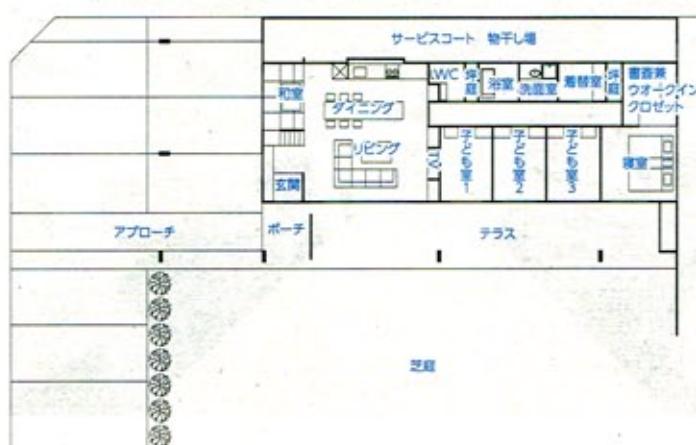


テレビが設置されている壁は扉付きの収納棚となっていて、内側にはリビングの周りに集まりがちな細々としたものを整理するのに便利な棚板が取り付けられています。南向きの大きな窓を開け放てば、大きな軒下空間と庭とが連続してつながります。

た」と振り返ります。



SIM  
PLE



平面図

所在地：うるま市  
家族構成：夫婦、子ども3人  
設計：一級建築士事務所simple  
担当・赤嶺しげたか、上間美智代  
敷地面積：1019.63m<sup>2</sup>(308.44坪)  
建築面積：200.92m<sup>2</sup>(60.78坪)  
延床面積 133.28m<sup>2</sup>(40.32坪)  
用途地域：未指定地域  
構造：補強コンクリートブロック造  
完成時期：2012年12月

●建築／(株)謝花組(担当・根間建成)  
●電気／(有)南光電気  
●水道／(有)共栄水道

3	2	1
5	4	

1. 広々とした芝庭でお友だちと水遊びを楽しむ子どもたち。大きな軒下空間も格好の遊び場です
2. 鉄筋コンクリートでつくったダイニングテーブルの下半分は収納スペースです。子どもたちがワイングラスで遊ばないよう、上部にはグラスホルダーを設置しました
3. ダイニングの隣の和室は、掘りごたつ式なので長時間の座談も楽。正面の壁は、棚板の位置が自由に変えられる造りとなっています
4. 子ども室の建具は、取り外しが簡単な上にコンパクトに収納できるよう5枚組にしました。開口部は学習机や収納家具がレイアウトしやすい大きさにしています
5. ハイサイドライトから光が降り注ぐ寝室。ウオーカーインクロゼット兼書斎とつながっているので、パブリックスペースへ行くことなく身支度ができます



ご主人の描いたスケッチに、建築士がアレンジを加えて完成させたZさん宅は、外人住宅風のモダンな平屋建て。建物は、西側と南側の軒を3メートル以上せり出した大屋根が特徴となっていて、その軒下には、Zさん夫妻のリクエストに応えてテラスとガレージを配しました。「軒を出した分、

コストはかかりましたが、雨の日でも子どもたちを連れての車の乗り降りが楽ですし、テラスはアウトドアダイニングとして存分に活用しています」と言います。その玄関扉を開けると、南側の庭に向かって開いた明るいLDKがあります。その一角の床高を持ち上げて大人数の来客の時でも落ち着いて会話を楽しめる和室をつくり、さらに、その並びには鉄筋コンクリートでできた大きなダイニングテーブルを設置。夫婦そろって社交的で、来客の多いZさんは広々としたなスペースにもなっています。

子ども室と寝室、水回りなどを配したプライベートな空間は、子育て中の夫婦の生活スタイルに合った使いやすさを実現。奥さまが特に便利に感じているのは、洗面室の並びに着替え室やウォーカーインクロゼットを並列して、サービスコートから取り込んだ洗濯物をさつと片付けられるようになしたこと。「おかげで家事がはかどります」と満足そうです。

ハイサイドライトから光を取り込み、地窓からは坪庭が望めるトイレ。手洗い器が設置されている壁の背面はキッチン収納庫にして空間を有効活用。奥は広々としています



SIM  
PLE



右／暗くなりがちな廊下はトップライトから採光。子ども室の扉の上部にガラスをはめ込んで、中の気配が分かるようにしています。左／玄関周りもトップライトから光を取り込んでいます。正面に見えるのは和室につながる階段。玄関扉を開けた時の佇まいも綺になります。

こんな家に住みたい 第434回 うるま市 Zさん宅

## 大きな軒下空間で多彩に過ごす



外観のアクセントにもなっている、花ブロックに囲まれたサービスコート。外部からの視線を遮りながらも風の通りはよく、半透明の屋根から日差しも入ってきます。さらに、着替え室や勝手口とつなげて効率的な家事動線を確保したほか、駐車スペース側にも扉が付いていますので、自転車やアウトドア用品置き場としても重宝しています。

■一級建築士事務所 simple  
うるま市塩屋510-1 105  
☎098-974-2500  
<http://simple2525.com/>



### サービスコートに機能性を持たせて多目的に使う

HIGHLIGHT  
家のつくりのヒント

ダイニングテーブルの面材は「料理がおいしそうに見える」とを基準に、Zさん夫妻が選びました。細長い形状のおかげで、配膳や後片付けが効率良く行えるそう。子どもたちが就学したら、学習スペースとしても重宝しそうです。

施主に初めてお会いした時に、「週末は友人や親類を招いてバーベキューを楽ししたい」「雨の日でも濡れることなく、駐車スペースから玄関まで行けるようになりたい」「洗濯物干し場は風通しをよくし、キッチンは多少散らかっていても気にならないようにしたい」などの希望をうかがいました。また、施主自ら外観や平面プランのスケッチを描いて、「どんな家で、どんなふうに暮らしたいか」という具体的なイメージがすでに出来上がっていましたので、設計はこのスケッチを基にしました。

敷地は東西に細長い形状で、畑が点在するのどかな集落の中にあります。緑豊かで車の往来も少なく、子育てに適した環境なのです。が、東側に牛舎があるため、おいが家の中に入らない

ように対策を講じる必要がありました。施主のスケッチでは、「おいを避けるために、牛舎を背にして西に向かって開いた造りになつてしましましたが、それでは西日の影響をまともに受けてしまうことになるので、約90度向きを変えて、全居室を南に配し、公私を明確に分けたプランを提案。子ども室へ行くには必ずLDKを通るようにするなど、家族間のコミュニケーションにも配慮して間取りを検討しました。

各居室の開口部は、風の流れと自然光が入り込む角度を考慮して位置を決定し、廊下や玄関などの暗くなりがちな場所には天窓を、周りには坪庭を配して自然な通風採光を実現。東側については、FIX窓にして光のみを取り込むようにしたほか、牛舎側に大きな壁を建て、おいの侵入路を

できる限り抑えていました。外観は、施主が持参した雑誌の切り抜きを参考にして、海外のリゾート地にある住宅のようなデザインにしました。3メートルの軒は、施主たつての希望。最も費用のかかる部分でしたのが、建物の構造を、総流込みの鉄筋コンクリート造よりも建築コストが抑えられる「コンクリートブロック造」にしたり、床下をなくしてコンクリート床に店舗用コルクタイルを直張りにするなど、コスト調整を図つて予算内に収めました。



室内・軒下空間・庭がひと続きになり、大人数でも伸びやかに過ごせるZさん宅。牛舎からのおいを遮るために建てた大きな壁には、布団干しなどに便利なポールを設置しました

SIMPLE